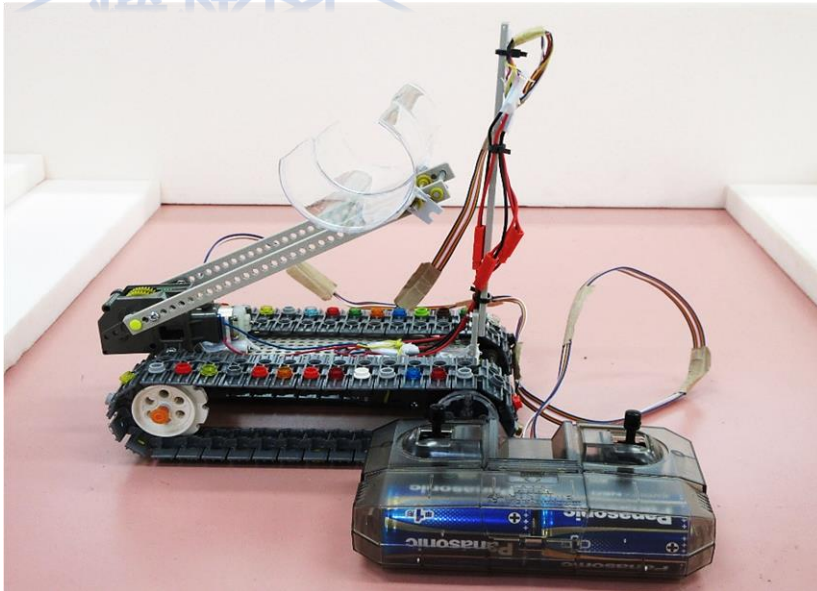
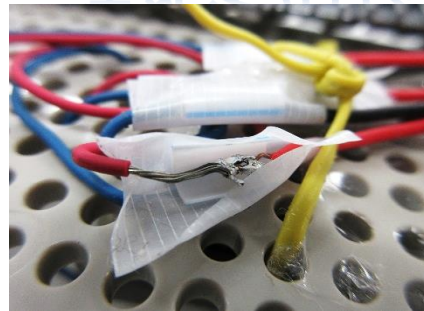


## <機体図>



### ① 生死を分ける大動脈

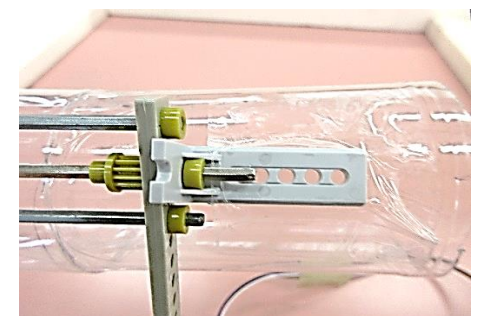


導線同士をねじって固定するという手法もあるが、導線の劣化を防ぐため、はんだごてを利用した。

また、はんだ付けした場所でも外れる恐れがあるため、2つの導線をフックにし、引っ掛け、はんだ付けをすることで強化した。

地区大会では、はんだ付けの周りにガムテープを付けたが、その粘着力により電流の接触不良を起こした。その反省から導線をストローで包み、周りにビニルテープを巻くことで、メンテナンス性も向上させた。

### ② 柔軟な救助作戦

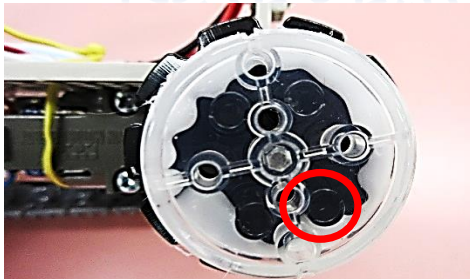


救助者を助ける機構を、ペットボトルのもつ弾性力をいかし作った。またメカが崖の上に来た際に、要救助者との位置がずれても方向転換せずに挟み込みながら救出できるようにした。

ペットボトルパーツとタミヤのプラバンとの接続は固定してしまわず、鉄心を使い少し遊びを設けることで、確実にキャッチ出来るように工夫した。

さらにペットボトルパーツの切り口の幅や取付位置により、要救助者の広範囲な救助を可能にした。

### ③ コネクトストップシステム



レゴのキャタピラ用ホイールだけを直接鉄心に差し込むと抜けてしまうため、その棒に対応したホイールのくぼみにフィットするパーツを用いた。またグルーガンを利用しそれらを固定した。(初めはグルーガンの熱で、プラパーツが変形すると思ったが、無事だったため一安心♥) その際、キャタピラの走破力を維持するためにレゴパーツと幅が合うように工夫した。また万が一固定したところが取れても、ホイールの内部にある固定パーツがガードするため、強度抜群！